

西濃農林事務所の普及活動状況

平成28年11月30日現在

今月の重点活動

■農業担い手サミットinぎふ 西濃地域交流会

11月10日～11日に実施された農業担い手サミットinぎふに際し、西濃地域交流会では「情報交換会」、「新規就農者育成支援フォーラム」、「現地研修会」を行った。

10日夜の「情報交換会」では、地元の農産物や飛騨牛を入れた食事や、各市町・JAのブースで試食を出し、おもてなしを行った。県内外約230名の参加者は、アトラクションを楽しみながら歓談した。

翌11日は、県外参加者117名と農業担い手リーダー組織の会員等が参加した「新規就農者育成フォーラム」が行われ、西濃地域の特徴的な取り組み3事例の発表がなされた。その後、県外参加者は3コースに分かれて現地視察を行い、各視察先では、担当職員が受け入れ農業者と連携し現地対応を行った。農業者、関係機関の協力を得ながら西濃農林事務所を挙げて円滑な運営に取り組み、大きなトラブルなく地域交流会を実施することができた。

今後は、今回の農業担い手サミットで高まった関係者の意識を具体的な形で地域の担い手育成に繋げる活動が必要である。



【情報交換会】



【新規就農者育成フォーラム】



【現地研修会】

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー JA西美濃ブロッコリー目揃会の開催

今年は定植が降雨で遅れ、全般的に生育が遅くなっている。定植後の大雨による湿害からは回復しつつあり、大幅な減収は避けられそうである。

11月上旬からブロッコリーの出荷が始まり、各部会・地域で目揃会が開催されている。農業普及課からブロッコリーの生育状況、今後の防除等栽培管理及び収穫見込みについて説明を行った。その後、調整前のブロッコリーを用いて、出荷調整の仕方や等級区別について全農及び農協担当者から説明があった。西濃ブロッコリーのブランド確立のため、高品質な品物の出荷が求められている。



【目揃会の様子】

多様な担い手づくり

■経営体支援 全国優良経営体表彰

全国農業担い手サミットに先立ち、全国優良経営体表彰式が11月10日午前にぎふ清流文化プラザで開催された。

西濃管内からは、法人経営体部門で有限会社福江営農、集落営農部門で農事組合法人わごう、個人経営体部門で近藤和吉氏が表彰された。



【表彰授与の経営体代表】

売れるブランドづくり

■大豆 「東海大豆現地検討会」の開催支援

11月16日に東海農政局主催による「東海大豆現地検討会」とJA主催の「大豆生産研修会」が合同で開催され、管内の大豆生産者を中心に東海地域の関係者約250名が参加した。

室内研修では窒素肥料深層施肥技術等について実証結果を踏まえての情報提供があった。現地研修は、養老町の帰化雑草対策展示ほと、海津市の深層施肥展示ほの2カ所で行われ、帰化雑草対策展示ほでは、県農業技術センターと連携して帰化雑草（ホオズキ）対策の取り組み状況について説明を行った。



【現地検討会の様子】

■トマト 各トマト生産組織で研修会開催

農業普及課では管内各生産組織で研修会を開催し、厳寒期にむけての栽培管理を説明した。特に、栽培環境の管理（早朝加温、適正換気、炭酸ガス施用等）を行うことで、生育を促進させ、薬剤に頼らない灰色かび病抑制について説明をした。さらに11月7日に第3回の養液栽培（ポット耕）研究会を就農支援センターの協力のもとで開催し、20名程度の参加があった。

■きゅうり 抑制裁培から半促成栽培への切り替え

抑制裁培が11月下旬から12月上旬に終了し、その後、半促成栽培に切り替わる。抑制裁培では、9月の長雨・日照不足等の影響で褐斑病やべと病が発生し、また、黄化えそ病の発生も非常に多く、農業普及課では病害虫を次作に残さないように、植え替え作業時の栽培管理について巡回指導で徹底を図っている。

■いちご いちご各生産組織で目揃会を開催 管内全域

11月下旬からいちごの収穫が始まり、各生産組織単位で目揃会が開催された。今年は定植期以降の天候不良によりやや生育は遅れているが、12月には各生産者の出荷が揃う見込みである。

農業普及課では、各地で「ほ場巡回研修会」を行い、今後の栽培管理や病害虫防除等について栽培講習を行った。



【ほ場巡回研修の様子】

■春菊・ナバナ 目揃会が開催 海津市・他

11月4日に海津春菊部会の目揃会が開催され、出荷基準の確認が行われた。29年産春菊は秋季の高温を想定した遅播き誘導、9～10月の長雨による定植の遅れと生育不良により、前年産より少ない出荷量となっている。また、海津ナバナ部会では11月18日に目揃会が開催され、出荷基準の確認が行われた。

農業普及課からは、良品生産のための栽培管理、病害虫防除、肥培管理のほか、農薬の安全使用、異物混入防止について講習を行った。

■秋冬だいこん（牧園芸組合）目揃会が開催 安八町

牧だいこん部会では11月上旬から秋冬だいこんの出荷が始まっており、11月19日に目揃会が開催され、出荷規格の確認等が行われた。本年は9月の長雨による軟腐病の発生や排水不良により、大きな被害が出ている。農業普及課からは、農薬の安全使用および病害虫に関する講習を行い、特に現在発生が認められる白さび病（わかか症）、黒斑細菌病について注意喚起を行った。